PART3「雪どけ」「緊張緩和」と第三世界

Chapter1 「雪どけ」とラテンアメリカ諸国の動向

目標 スターリン批判により「雪どけ」を始めたソ連の指導者をおさえよう。
米ソの緊張が一気に高まった 1962年のできごとについて学ぼう。

1 ソ連の「雪どけ」

①ソ連の動向

1953年 独裁者〔　　　　　　　　〕の死→ソ連の「**雪どけ**」始まる

1955年 ユーゴスラヴィアと和解

西ドイツと国交回復→ヨーロッパの戦後処理を終了

※しかし，再軍備した西ドイツが北大西洋条約機構〔ＮＡＴＯ〕に加盟。ソ連・東欧諸国は対抗し**ワルシャワ条約機構**〔ＷＴＯ〕を結成。

ジュネーヴ四巨頭会談

※米・ソ・英・仏が軍縮問題で会談，緊張緩和の機運高まる。

1956年 〔　　　　　　　　〕第一書記による**スターリン批判**

※ソ連共産党第 20 回大会で，自由主義・資本主義国との〔　　　　　　〕を提唱。東欧諸国との**コミンフォルム〔共産党情報局〕を解散**。

※中華人民共和国は平和共存政策を「修正主義」と批判。

日ソ共同宣言→アジアの戦後処理を終了

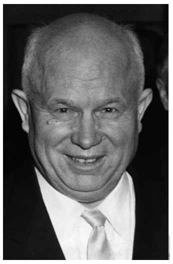
1957年 **初の人工衛星**〔　　　　　　　　〕１号打ち上げ成功

※アメリカ合衆国など西側諸国は「スプートニク＝ショック」を受ける。

※アメリカ合衆国に先んじて大陸間弾道ミサイル〔ＩＣＢＭ〕の実験にも成功。

1959年 フルシチョフ訪米→アイゼンハワー大統領と会談

※しかし翌年，アメリカ合衆国の偵察機がソ連上空で撃墜されたことで緊張関係に戻る。



フルシチョフ

②東欧諸国の動向

1956年　**ポーランド**反政府反ソ暴動〔ポズナニ暴動〕

※ゴムウカが第一書記となり自由化路線を推進。

ハンガリー反ソ暴動〔ハンガリー事件〕

※ソ連が軍事介入し鎮圧。のち首相のナジ＝イムレを処刑。

1961年　**東ドイツ**による〔　　　　　　　　　　　〕構築

2　ラテンアメリカ諸国の動向

①ラテンアメリカ全般の動向

中南米諸国は, 戦後もアメリカ合衆国の強い影響下に置かれた（1948年には**米州機構**〔ＯＡＳ〕を結成)。しかし，強い民族主義に根差した政権も登場し，反発も始まった

※アルゼンチンのペロン政権など。ただし，グアテマラの左翼政権は，アメリカ合衆国に支援された軍部のクーデターでのちに倒壊。

②〔　　　　　　　〕**革命**（1959年）

〔　　　　　　　〕や**ゲバラ**が，親米バティスタ政権を打倒。1961年，アメリカ合衆国のアイゼンハワー大統領はキューバと断交

※キューバの革命政府は**社会主義宣言**を発表してソ連寄りの姿勢を示しつつ，アメリカ合衆国の経済封鎖に耐えて政権を維持した。

カストロとゲバラ

③〔　　　　　　　　　　〕(1962年)

ソ連第一書記**フルシチョフ**の支援によるキューバでの**ミサイル基地**建設が発覚。アメリカ合衆国大統領〔　　　　　　　〕が海上封鎖で対抗し，東西の緊張が一気に高まった

※アメリカ合衆国のキューバ内政への不干渉と交換に, ソ連が基地を撤去する合意が成立。翌年，米ソ首脳執務室間に**ホットライン**〔直通電話回線〕が開設され，緊張緩和の方向に転換。

まとめ　スターリンの死後，フルシチョフがソ連の「雪どけ」を主導した。
キューバ危機により，米ソの緊張感は一気に高まった。

Chapter2　第三世界の連携と「緊張緩和」

目標
アジア・アフリカ・ラテンアメリカなどの発展途上国の総称を知ろう。
東西の緊張緩和となる中，中東戦争で西側諸国がどの勢力についたかおさえよう。

1　第三世界の連携

1954年　**平和五原則**

※中国の〔　　　　　　〕**首相**とインドの〔　　　　　　〕**首相**が，領土保全と主権尊重，不侵略，内政不干渉，平等と互恵，平和共存を発表。

1955年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕**会議〔バンドン会議〕→平和十原則**

※アジア･アフリカ29カ国の代表が参加しインドネシアの**バンドン**で開催された。

1960年　アフリカの年→ 17の新興独立国が生まれる

1961年　**第一回非同盟諸国首脳会議**

※25カ国の代表が参加し〔　　　　　　　　　　　　　　〕の**ベオグラード**で開催された。

1963年　アフリカ統一機構〔ＯＡＵ〕を結成

※アフリカ諸国首脳会議をエチオピアのアジスアベバで開催。

1964年　**国連貿易開発会議〔ＵＮＣＴＡＤ〕**の結成

※発展途上国77カ国が南北の経済格差の是正を目指す。

2　中東の情勢

1948年　**第一次中東戦争**〔パレスチナ戦争〕

※アラブ連盟がユダヤ人によるイスラエルの建国に反対するが，国際連合が調停。

1952年　エジプト革命→王政を倒す

※のち**ナセル**が大統領となり，アスワン＝ハイダムの建設を推進した。

1956年　〔　　　　　　　　　　〕**の国有化**を宣言

第二次中東戦争〔スエズ戦争〕

※イギリス・フランス・イスラエルがエジプトに軍事行動を起こすが，米・ソはじめ国際世論の非難を招き撤退。

1967年　**第三次中東戦争**〔6日戦争〕

※エジプト・シリア・ヨルダンなどが〔　　　　　　　　　　〕に大敗。

1973年 **第四次中東戦争**→第一次石油危機に

※エジプトの**サダト大統領**がシリアとともにイスラエルに反撃するが，まもなく停戦。のち79年にエジプト＝イスラエル平和条約で講和。

3 ヨーロッパの緊張緩和

1963年 〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕**条約**〔ＰＴＢＴ〕→米・ソ・英

1964年 **公民権法**→〔　　　　　　　　〕**牧師**らの活動の成果

※前年に暗殺されたケネディ大統領の後を受け，**ジョンソン大統領**が成立させる。

ソ連でフルシチョフ解任

※〔　　　　　　　　　　〕第一書記・コスイギン首相体制へ。

1968年 〔　　　　　　　　　　〕**条約**〔ＮＰＴ〕

〔　　　　　　　　　　〕

※**チェコスロヴァキア**の民主化運動。ドプチェク第一書記が自由化を推進するがソ連が軍事介入し，改革の動きを抑える。

※東欧では，石油資源を持つルーマニアが独自色を強める。

1969年 **第一次戦略兵器制限交渉〔ＳＡＬＴ Ｉ〕**

西ドイツの**ブラント首相**による〔　　　　　　　　〕開始

※ソ連・東欧との関係改善を図る。

1972年 東西ドイツが相互に承認し合う

1973年 **東西ドイツが国際連合に同時加盟**

1974年 ポルトガルで独裁体制崩壊

軍事政権下にあったギリシアが民主制に復帰

1975年 スペインでフランコが死亡

※後継に指名されたファン＝カルロス１世の下で，78年に民主的君主制に移行。

ゲットー跡地にひざまずくブラント

まとめ

東西どちらの陣営にも属さない発展途上国は第三世界と呼ばれた。

西側諸国は中東戦争でユダヤ人のイスラエル側についた。

第13講 PART3 確認問題

1 1955年，ソ連・東欧諸国が結成した軍事同盟はどれか。

① WTO　② UNCTAD
③ NATO　④ OAU

2 ソ連共産党大会で，自由主義・資本主義国との平和共存を提唱した第一書記はだれか。

① フルシチョフ　② ブレジネフ
③ ナセル　④ スターリン

3 1956年にポズナニ暴動が起こったのはどこか。

① 東ドイツ　② ハンガリー
③ ソ連　④ ポーランド

4 1962年のキューバ危機勃発時のアメリカ大統領とソ連第一書記の組み合わせとして正しいのはどれか。

① ケネディ：ゴルバチョフ　② ケネディ：フルシチョフ
③ ジョンソン：ゴルバチョフ　④ ジョンソン：フルシチョフ

5 平和五原則を発表したインドの首相はだれか。

① ナセル　② ガンディー
③ ネルー　④ カストロ

6 中東で1956年に起こった，スエズ戦争と呼ばれる戦争を何というか。

① 第一次中東戦争 ② 第二次中東戦争
③ 第三次中東戦争 ④ 第四次中東戦争

7 1963年に，米・ソ・英間で結ばれた核軍縮条約はどれか。

① 核拡散防止条約 ② 部分的核実験禁止条約
③ 包括的核実験禁止条約 ④ 第一次戦略兵器制限交渉

8 1964年に公民権法を成立させたアメリカ大統領はだれか。

① サダト ② アイゼンハワー
③ ケネディ ④ ジョンソン

9 1968年に結ばれた核拡散防止条約の略称はどれか。

① NPT ② PTBT
③ SALT I ④ CTBT

10 東方外交を開始した西ドイツの首相はだれか。

① ジョンソン ② ドプチェク
③ ブラント ④ サダト

第13講　PART3　確認問題　解答

1 解答：①　ＷＴＯはワルシャワ条約機構の略称で，西ドイツのＮＡＴＯ加盟に対抗して結成された。

②：1964 年に南北問題の是正を目指して結成された国連貿易開発会議の略称。
③：アメリカ・西欧諸国が結成した北大西洋条約機構の略称。
④：1963 年に結成されたアフリカ統一機構の略称。

2 解答：①　フルシチョフはスターリン批判を行った。

②：フルシチョフに代わり第一書記となった。
③：エジプト革命後，エジプトの大統領となった。
④：フルシチョフの前のソ連の最高指導者。

3 解答：④　ポズナニ暴動は反政府反ソ暴動である。

①：ベルリンの壁が構築された。
②：反ソ暴動であるハンガリー事件が起こった。
③：ハンガリー事件に対し軍事介入した。

4 **解答：②**

キューバ危機は，ソ連の支援によるキューバでのミサイル基地建設が発覚したことから，ケネディ大統領が海上封鎖で対抗し，東西の緊張が一気に高まった事件。

①：ゴルバチョフは 1985 年に書記長となりペレストロイカなどの改革を推進した。
③：ジョンソンはケネディに代わって大統領となった。ゴルバチョフは 1985 年に書記長となりペレストロイカなどの改革を推進した。
④：ジョンソンはケネディに代わって大統領となった。

5 **解答：③**

平和五原則は，ネルー首相と中国の周恩来首相が発表した。

①：エジプト革命後，エジプトの大統領となった。
②：第一次世界大戦後のインド独立運動の指導者。
④：キューバ革命の指導者。

6 **解答：②**

第二次中東戦争〔スエズ戦争〕では，イギリス・フランス・イスラエルがエジプトに軍事行動を起こしたが，撤退した。

①：パレスチナ戦争と呼ばれる。
③：6 日戦争と呼ばれる。
④：第一次石油危機勃発のきっかけとなった。

7 **解答：②**　部分的核実験禁止条約〔ＰＴＢＴ〕は，大気圏，宇宙空間，水中における核実権を禁止した条約。

①：1968 年に結ばれた，核保有国の非保有国への核兵器引渡しなどを禁止した条約。
③：1996 年に採択された，地下核実験を含むすべての核実験を禁止した条約。
④：1969 年から米・ソ間で行われた核兵器の数を制限するための交渉。

8 **解答：④**　公民権法は，キング牧師らの活動によって制定された。

①：第四次中東戦争（1973 年）が起こったときのエジプトの大統領。
②：キューバ革命（1959 年）が起こったときの大統領。
③：キューバ危機（1962 年）が起こったときの大統領。

9 **解答：①**　ＮＰＴは，核保有国の非保有国への核兵器引渡しなどを禁止した条約。

②：部分的核実験禁止条約の略称。
③：第一次戦略兵器制限交渉の略称。
④：包括的核実験禁止条約の略称。

10 **解答：③**　ブラント首相は，ソ連・東欧との関係改善を図った。

①：公民権法を成立させたアメリカ大統領。
②：チェコスロヴァキアの民主化を進めた第一書記。
④：第四次中東戦争勃発時のエジプト大統領。